

夏だけ札幌暮らし

JALが実証実験

7月から

日本航空(JAL)は19日、首都圏在住者らを対象に夏場のみ札幌市内に居住するサーブス「JAL2地域居住クラブ」の実証実験を7月から始める」と発表した。住居の提供で賃貸仲介道内大手の常口アトム(札幌)も協力。課題を探り、本格事業化を目指す。冷涼な道内で仕事や観光をしたい二丁ズを取り込む。東

京(羽田)、大阪(伊丹、関西)、名古屋(中部)の4空港と新千歳空港を結ぶ片道航空券(月6回まで)と、家具付きマンションを用意する。

活動的な生活を送るシニア層を主な対象としており、道内のイベントを紹介したり、交通手段の相談に乗ったりする窓口も設ける。

株式会社北海道支社と株式会社常口アトムとの業務協



業務協定を結んだJALの林浩一
北海道支社長(左)と常口アトム
の清河智英社長

「二丁ズの多い札幌から始め、
事業を道内各地に広げたい」
と話した。

期間は10月末まで。10組限
定(1組2名まで)で、応募
が多い場合は抽選する。価格
は部屋の広さなどで異なり1
カ月25万〜45万円。問い合わ
せはJAL北海道支社の担当
窓口、電話050・3097
・7093へ。(斉藤徹)

常口と連携 マンション用意